

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	心房細動カテーテルアブレーション後の脳梗塞低リスク患者に抗凝固療法を継続する意義に関する研究(B24-013)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部附属臨床研究センター・プロジェクト実施部門 教授 及川 淳
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	心房細動のカテーテル治療において、治療前は抗凝固薬の内服が推奨されていますが、治療後、特に脳梗塞リスクの低い患者さんにおける抗凝固薬内服の必要性に関しては明らかになっていません。一方で、抗凝固薬と腎機能障害の関連についても最近では報告されています。今回の研究では、抗凝固薬と腎機能の関係をみることにより、治療後の抗凝固治療の必要性について検討します。
調査データ 該当期間	2014年4月1日から2022年3月31日までに当院で心房細動カテーテル治療を受けた患者さんを調査対象とします。
対象となる患者さん	2014年4月1日から2020年3月31日までに当院で心房細動カテーテル治療を受けた18歳以上85歳以下で、脳梗塞リスクスコア(CHADS <sub>2</sub> )が0点あるいは1点の患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	2014年4月1日から2022年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、臨床研究センター・プロジェクト実施部門研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

	<p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： <b>所属・職位：医学部附属臨床研究センター・プロジェクト実施部門 教授</b> <b>担当者：及川 淳(オйкаワ ジュン)</b> <b>電話：042-778-8111</b></p>
備考	